

第11号

NPO法人 青森県就労支援事業者機構

AESS ニュース

人はみな、  
生かされて  
生きてゆく。  
更生保護ネットワーク

【発行月】平成29年7月  
【発行者】NPO法人  
青森県就労支援事業者機構  
【所在地】青森市長島1-3-25  
【電話】017(776)6418

【お問い合わせ】  
メールアドレス  
aomori-kikou@live.jp

おめでとうございます

藍綬褒章

保護司 佐藤 武治 様

(理事・青森県協力雇用主連盟会長)

【巻頭言】

## 「青森県暴力追放県民センター における就労支援対策について」

「真つ当な職業に就き更生することが  
究極の暴力団根絶対策」



公益財団法人  
青森県暴力追放県民センター  
専務理事 今 豊

公益財団法人青森県暴力追放県民センターの  
事業には「暴力団離脱就労支援」があり、これ  
を受け平成五年、「青森県暴力団社会復帰対策  
協議会」が設立されております。

しかし、近年、暴力団勢力が年々減少してい  
く中、大部分の離脱者は職業に就いていないの

が実態であります。離脱を推進しても就職先が  
ないのでは片手落ちで離脱と就労は一对のもの  
と考えなければなりません。このため、平成二  
十七年に同協議会刷新総会が開催され、以来、  
活発な情報交換が行われているところでありま  
す。

現在、当センターでは、警察本部組織犯罪対  
策課及び青森刑務所と連携し、入所中の暴力団  
組員に対する離脱の働きかけを行うとともに全  
国の各センターと協定し、就職先を県外に求める  
「広域連携」活動を実施しているところです。

また、離脱者を雇用した事業者に一定の条件  
のもとに給付する「離脱者雇用給付金制度」の  
広報を行い、受け入れ企業の拡大と継続協力依  
頼を行っております。

この他、当センターの「暴力追放連絡員」に  
依嘱している保護司二〇名に対し、暴力団から  
の離脱の働きかけをお願いしているところであ  
ります。

暴力団から離脱してもその受け皿がなければ、  
また元に戻ってしまう、真つ当な職業に就き善  
良な社会人として更生していくことが、まさに  
究極の暴力団根絶対策であります。

今後とも当センターの離脱就労支援活動に、  
皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 活動の様子

### 一、第二回 理事会 開催

平成二十九年三月二日、青森保護観察所会議  
室において、理事十四名のところ、九名(書面表  
決五名)の出席を得て、当機構の理事会が開催さ  
れました。平成二十九年事業計画案、活動予  
算案及び、役員の選任について審議しました。  
満場一致で承認を頂き、次期総会に付議するこ  
ととしました。

事務局から平成二十八年六月に特定非営利活  
動促進法の改正に伴い、貸借対照表の公告に係  
る規定が新設され、全ての法人が自ら貸借対照  
表を公告すること  
となり、平成三十  
年十月一日に施行  
予定であること、平  
成二十九年年度の総  
会で定款変更の手  
続を行うよう準備  
を進めていることが  
説明されました。

青森県保護司会  
連合会天内会長か  
ら更生保護団体で  
協力し、ホームペ  
ージを開設するこ  
とについて説明が  
あり、当機構も参  
加することになり  
ました。



## 二、第六十六回 社会を明るくする運動 作文コンテスト 表彰式

平成二十九年一月六日、青森市の県観光物産館アスパムで「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式が行われ、五所川原市立金木中学校三年 木村 水星さんが、当機構会長賞（はまなす賞）を受賞しました。

「社会を明るくする運動」をテーマとした作文内容は、「日本は外国から見ると、安全な国、平和な国とおもわれていますが、現状は全く異なっています。毎日のように犯罪や非行のニュースが報道されています。安全で安心な暮らしを人々は望んでいます。このまま犯罪や非行が起こり続ければ、いつか国内で内戦が起こってしまうかもしれないと思います。犯罪や非行をなくすためには、地域の人達の積極的なサポートや声かけ、あたたかい眼差しが本当に重要なことだと思います。安全な社会をきづくにはまだまだたくさんありますが、地域の一人一人が更生した人に対し、偏見を持たないで、立ち直ろうとする人を受け入れ支えてあげることが必要だと思います。」というものでした。



## 三、青森県暴力団社会復帰対策協議会総会

平成二十九年一月二十五日 青森市のホテル青森で開催され、約三十名の協力団体・機関等関係者が出席し、当機構からは保護観察所の村上統括が出席しました。

（一社）青森県建設業協会の鹿内雄二会長からは、「再犯防止へ向けた総合対策の重点施策である暴力団離脱に対する社会復帰支援等に取り組んでいる。住みよい青森県の実現に向けて、関係機関や民間団体と連携を図りながら事業を進めていきたい。」と挨拶がありました。

続いて青森県警察本部寺田刑事部長より、「本年度暴力団離脱支援は六件、就労に至った実績はなかった。社会復帰のための受け皿の確保が課題である。」と来賓祝辞がありました。なお今年度は議事にかげられる案件はなく、事務局から報告事項として、受入事業者の状況や広域連携締結都府県の実況等について報告がなされました。

続いて青森刑務所より「青森刑務所における暴力団離脱指導について。」、青森保護観察所



より「青森保護観察所管内の就労支援の状況について。」、青森公共職業安定所より「ハローワーク青森管内の雇用情勢等について。」、青森県警察本部刑事部組織犯罪対策課より「暴力団情勢と離脱支援状況について。」、が発表されました。

## ホームページ 青森県更生保護ネットワークのトップページ

当機構も新しくホームページを開設する運びとなりました。現在制作中で、八月にはオープンの予定です。お楽しみに。

人はみな、生かされて、生きていく。青森県更生保護ネットワーク

青森県更生保護ネットワーク

「社会を明るくする運動」への賛同を示す身近な協力のしるしとして平成22年に結成されました。更生保護のシンボルマークであるヒマワリの黄色と、羽根を飾った羽根を合わせたかき足る太陽を模した黄色い「幸福の黄色いハシカチ」（昭和52年、山田洋次監督）から着想を得ており、犯罪のない幸福な社会を願うシンボルマークとして使用しています。

幸せの「黄色い羽根」は、犯罪のない幸いで明るい社会を願うシンボルマークです。

私たちは、地域社会の一員として、犯罪や非行をした人の立ち直りを支援します

青森県更生保護協会 青森県保護司会連合会 青森県更生保護女性連盟 青森県BBS連盟  
 青森県協力雇用主会連盟 NPO法人就労支援事業者機構 更生保護施設プラザあすなろ 自立準備ホーム  
 更生保護サポートセンター 法務省・保護局 保護局ツイッター 青森保護観察所